

学力向上に向けた取組

函館市立上湯川小学校

1 課題

- 言語環境の整備及び言語活動の充実
- 個に応じた指導の充実

2 課題解決の具体策

- ①児童一人一人の「読み取る力」を高めるための言語活動の充実
- ②習熟の程度に応じた少人数指導など個に応じた指導

3 取組の概要

①について

- ・校内研修において国語科の「読むこと」領域を取り上げ、授業の中で児童一人一人の「読み取る力」を高めるための言語活動の工夫に努めた。
- ・全学級(学年)が研究授業を公開し、「読むこと」領域における単元の系統を明らかにするとともに、学んだことが活かせる言語活動を工夫することにより生きて働く言葉の力の習得に努めた。
- ・PTAの資源回収活動の協力を得るなどして学校図書を計画的に整備し、児童の読書環境を整えると同時に朝読書の通年実施や本の読み聞かせ活動を活発に実施するなどして児童の読書環境を充実を図った。

②について

- ・「計算チャレンジ」教室を全学年において実施し、習熟の程度やつまづきの実態に応じた少人数指導を取り入れるなど指導内容を工夫し、全教職員により組織的に個に応じた指導の展開を図った。

その他

- ・「家庭学習のてびき」を作成し、学校と家庭が連携して児童の主体的な学びを支えるための共通理解と協力体制を確立に努めた。



4 成果と課題

- 全学級(学年)が研究授業を公開することにより、学力向上のために必要な「読む力」を系統立てて身につけていくための授業改善を図ることができた。
- 基礎・基本の定着に向けた取り組みの継続が必要である。また、適切な学習場面で効果的に少人数指導を取り入れるなど全教職員による組織的な取り組みが必要である。